

# 事業概要シート

施策 0501 健康づくりの推進

《》の金額 補正予算要求時…当初・繰越予算の合計額  
 新年度予算要求時…当初・繰越・補正予算の合計額

事業名	糖尿病性腎症重症化予防事業	現状維持	予算額	3,503 千円
			《	3,169》千円
事業期間	平成28年度 ~	財 源 内 訳	国庫支出金	千円
根拠法令 要綱等	高齢者医療の確保に関する法律		県支出金	3,503 千円
			地方債	千円
			その他	千円
		一般財源	千円	

【事業の目的・概要・対象】

《対象》

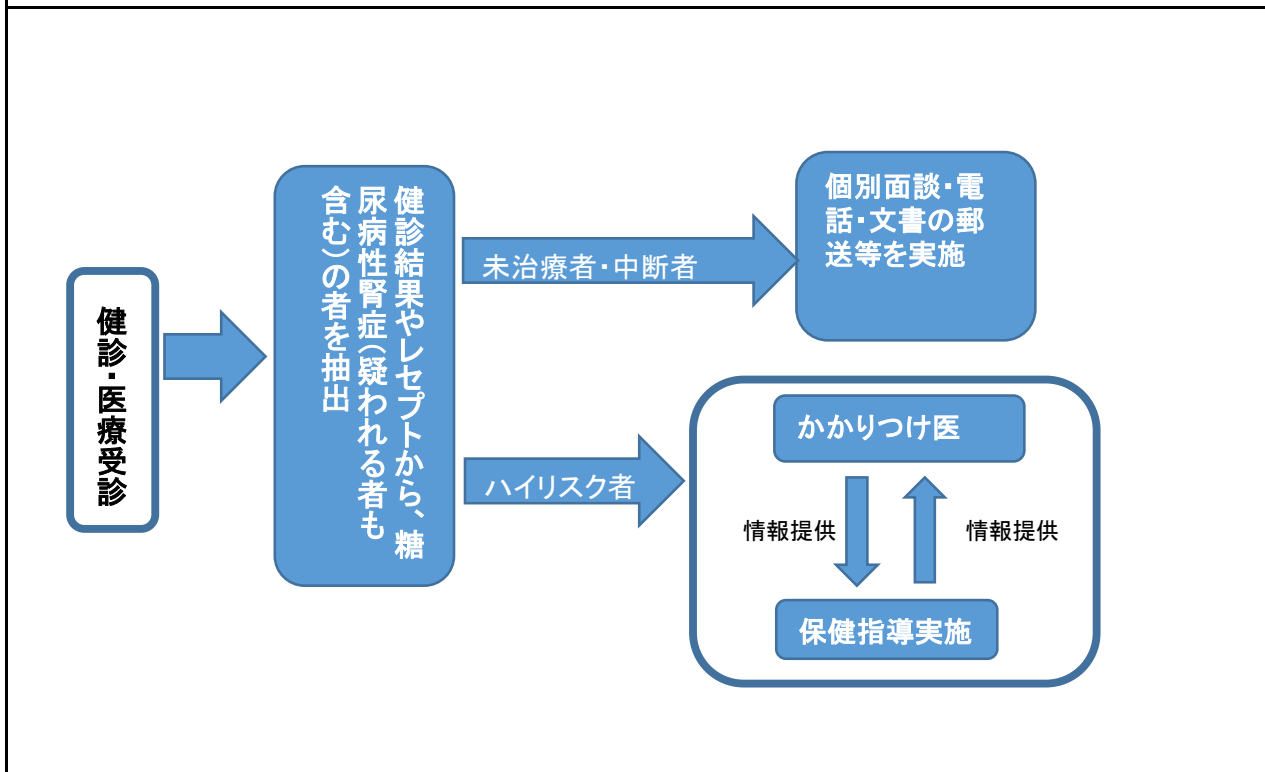
大村市国民健康保険の被保険者で40～74歳の者及び長崎県後期高齢者医療の被保険者である大村市民のうちの糖尿病性腎臓病患者（疑われる者も含む）

《目的》

対象者に対して、糖尿病性腎臓病の重症化を予防することで糖尿病による新規人工透析導入者の減少につなげ、医療費の抑制を図る。

《概要》

1. 対象者の内、重症化するリスクの高い医療機関未受診者・受診中断者に対し、適切な受療行動を取ることができるよう支援する。
2. 糖尿病性腎臓病患者（疑われる者も含む）に対し、かかりつけ医と連携し管理栄養士及び保健師が生活・栄養指導を実施する。



【背景】

大村市では、糖尿病患者数の増加が課題となっており、糖尿病は放置すると網膜症・腎症・神経障害などの合併症を引き起こし、対象者のQOL（生活の質）を著しく低下させている。また、医療費の増加により、国保財政の安定的な運営に大きな影響を与えている。

担当課	福祉保健部国保けんこう課	課長	橋本 学
担当者	加藤 百々子	問合せ先	0957-53-4111（内線140）

# 事業概要シート

## 【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	事業参加者数	人	7	42	239	239	239
②							

## 【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	検査値が改善・維持している者の割合 (検査値が改善・維持している者の割合)	%	57.1	71.4	60	60	60
②	大村市国民健康保険の被保険者で新規人工透析導入の患者の内、糖尿病性腎症の人数(腎不全協会資料より)	人	7	6	6	6	6

## 【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	合計
事業費	2,974	2,807	3,169	3,503	3,503	3,503	19,459
国庫支出金							0
県支出金	2,898	2,807	3,169	3,503	3,503	3,503	19,383
地方債							0
その他							0
一般財源	76						76
人件費	3,912	7,445	13,605	13,605	13,605	13,605	65,777
職員(人)	0.50人	0.98人	1.82人	1.82人	1.82人	1.62人	8.56人
時間外勤務(h)	138h	159h	185h	185h	185h	185h	1037h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	6,886	10,252	16,774	17,108	17,108	17,108	85,236

妥当性 (市の関与)	保険者として、被保険者の健康増進と医療費の抑制のため、市が実施主体となることは妥当である。また、保険者努力支援制度の評価指標の1つでもあり、国民健康保険の保険者として実施することが求められている。
有効性 (施策貢献度)	予防可能な糖尿病性腎症による人工透析導入者を減少させることで、医療費や介護費等の社会保障費の抑制を図ることができる。
効率性 (コスト)	生活・栄養指導を行うため、最低限必要な人数で実施する。 また、事業の趣旨により、参加者から料金を徴収することは適切ではない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり